



2021年3月31日

各位

会社名 株式会社フィードフォース  
代表者名 代表取締役社長 塚田 耕司  
(コード番号: 7068 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役経営管理本部長 西山 真吾  
(TEL. 03-5846-7016)

## 支配株主からの当社株式保有比率引下げ方針に関するメッセージについて

本日、支配株主である塚田耕司より、別紙のとおり、当社株式保有比率引下げ方針に関するメッセージを受領しましたので、お知らせいたします。

当社としましては、支配株主の保有比率低下により当社株式の市場区分見直し後の上場維持基準を充足するとともに流動性向上を期待しております。また、本方針を踏まえた当社流通株式比率は以下の通りとなることを想定しております。

### 当社流通株式比率<sup>※1</sup>の見通し

	2020年11月30日	2021年6月30日 (移行基準日 <sup>※3</sup> )	概ね3年後
流通株式比率	約24% <sup>※2</sup>	25%以上	35%以上

※1 上場株式数に対する流通株式数（上場株式数から、「上場株式数の10%以上を所有する株主が所有する株式数」、「役員所有株式数」、「自己株式数」を除いた株式数。2022年4月4日以降は、これに「役員以外の特別利害関係者が所有する株式数」、「国内の普通銀行、保険会社及び事業法人等」及び「その他固定的と認める株式数」も除いた株式数となる予定）の比率

※2 上記流通株式の定義見直しを踏まえて当社が算出

※3 東京証券取引所より上場維持基準への適合状況が判定される日。当該日に上場維持基準に適合していない場合には新市場区分の選申申請時に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出した場合に限り緩和した上場維持基準が適用される予定

(参考) 東京証券取引所における各市場の流通株式比率に関する新規上場基準・上場維持基準の予定<sup>※</sup>

	プライム市場	スタンダード市場	グロース市場
流通株式比率	35%以上	25%以上	25%以上

※ 株式会社東京証券取引所「市場区分の見直しに向けた上場制度の整備について（第二次制度改正事項）」（2020年12月25日）

以上

(別紙)

2021年3月31日

株式会社フィードフォース 御中

現在、私は株式会社フィードフォース株式 3,895,600 株を保有（間接保有分含む）しており、これは発行済株式総数の 60.2%（2020年11月30日時点）に当たります。また、当社役員等保有分も考慮すると当社株式の流通株式比率は 25%未満となっており、東京証券取引所の新市場区分見直し後の上場維持基準を満たしていない状況です。

このため、2021年4月以降に発行済株式総数の 1%程度の保有株式をできる限り市場に影響を与えない手法により株式売却を行う予定です。

これにより、流通株式比率は 25%を上回る見通しで、新市場区分であるグロース市場の上場維持基準に適合するものと考えております。

また、プライム市場の上場維持基準である流通株式比率 35%以上への適合を目指し、今後概ね 3 年を目処に更に保有比率を引き下げていく方針であることもあわせてお伝えいたします。

一方で、今後も長期的な安定株主であり続ける方針には変更はございません。

塚田 耕司